

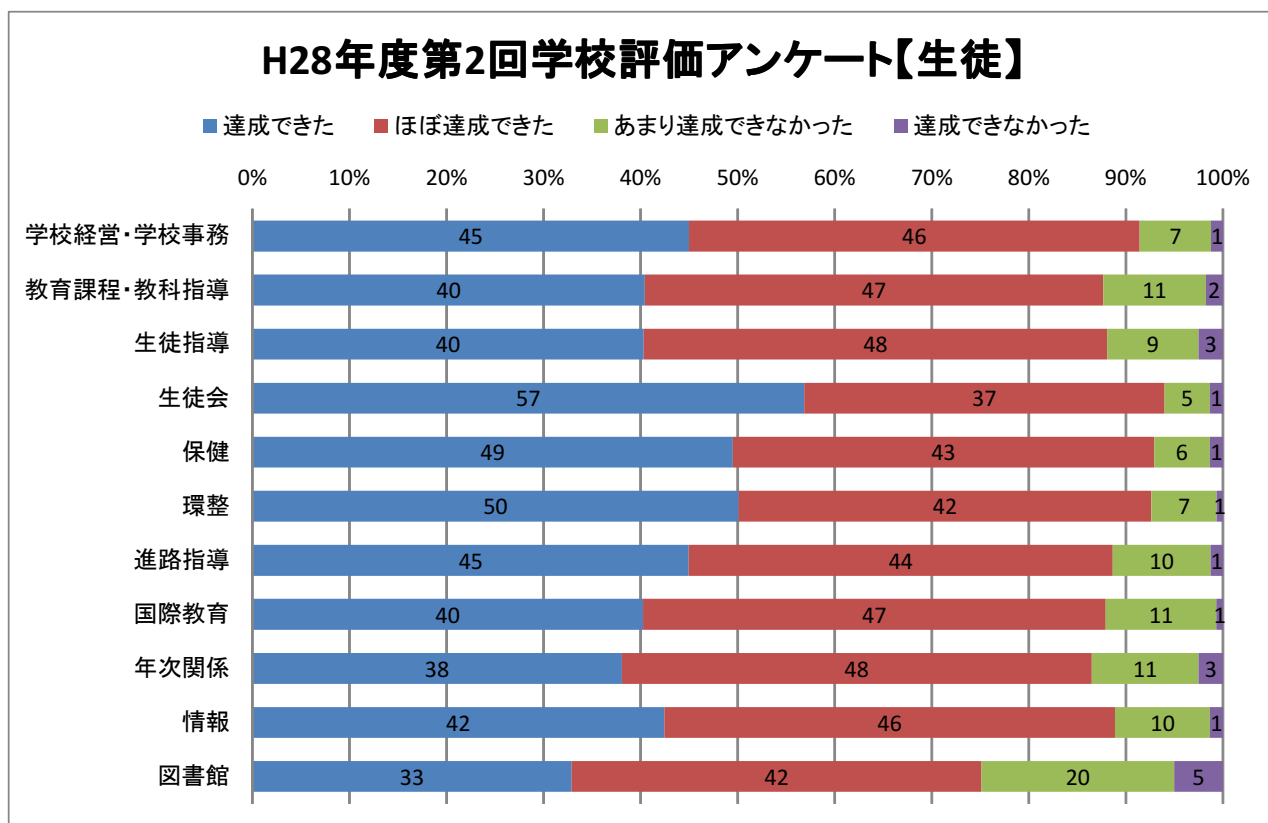
## 1 学校評価の方法

- 時期 平成28年7月（第1回）及び12月（第2回）
- 評価者 生徒、教職員及び保護者
- 方法 学校改善・点検シートにより達成度を4段階で評価する。

## 2 第2回学校評価結果（平成28年12月実施）

### （1）生徒アンケート結果の概要について

- 対象生徒数：707名
- 回収者数：743名（回収率：98.9%）
- 質問項目数：32（昨年度31）
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次のとおり。



※ 調査項目32項目で、肯定的な評価の平均は88.0%（昨年比 ±0）

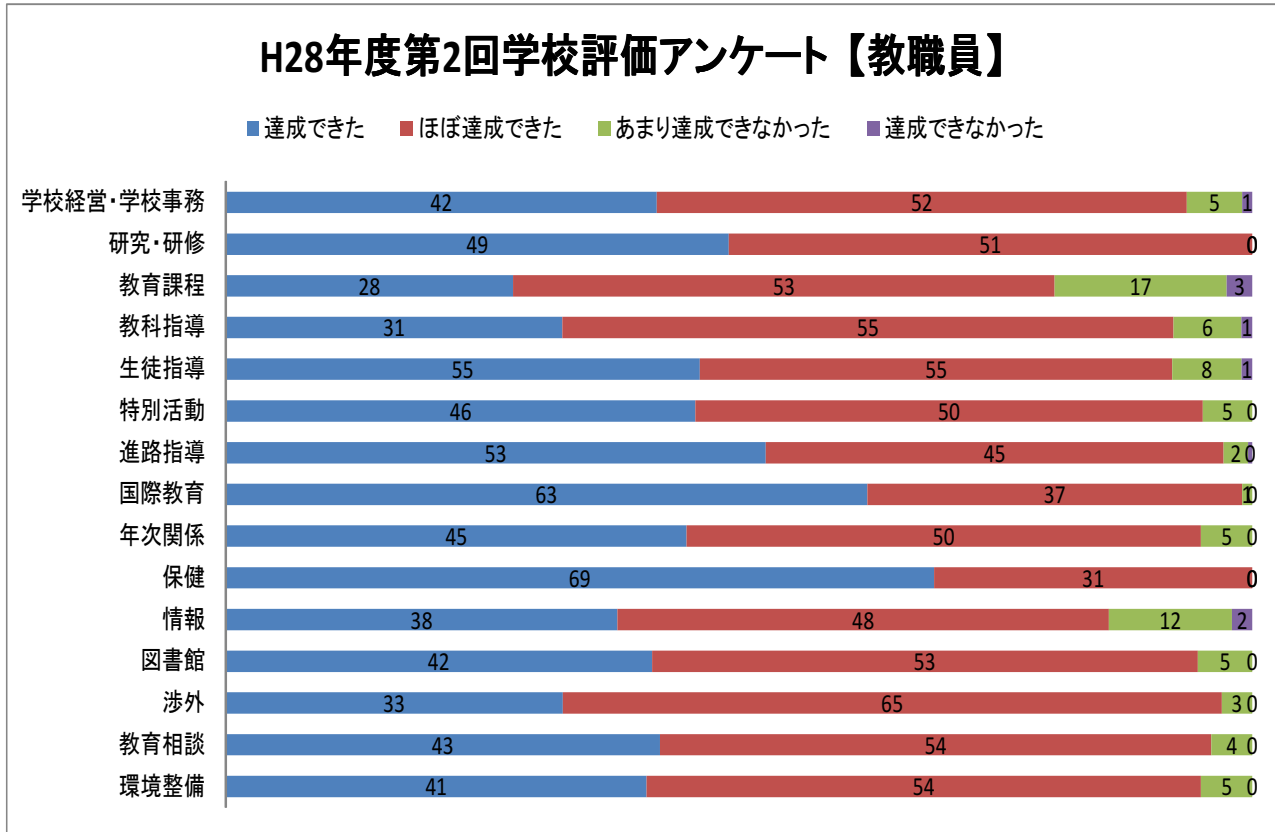
- 肯定的な評価が特に高い項目（90%以上） 今年（昨年比）
  - ・学校で地震や火災などの災害が起こった場合の行動の仕方について、具体的に知らされている。 93% (+2)
  - ・命を大切に作る心や社会のルールを守る態度を育成している。 94% (0)
  - ・教室・特別教室・運動場や体育館などは、良く整備されている。 94% (-1)
  - ・SSHの活動により、理数系の教科・科目への興味・関心が深まった。（SSH所属の生徒のみ回答） 96% (+1)
  - ・本校では生徒の自律性、自主性が尊重されている。 90% (-3)
  - ・「いじめ防止」に対しては、先生方が共通理解のもと指導が行われている。 90% (-1)
  - ・学園祭等の生徒会行事が、自主的に企画・運営されている。 94% (-1)
  - ・生徒の心身の健康に関する指導が行われている。 92% (-1)

- ・本校では、環境美化・清掃活動が積極的に行われている。 92% (-1)
  - ・ゴミの分別、節電・節水など環境教育の適切な指導が行われている。 92% (-1)
  - ・進路意識を高めるため、講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 93% (+3)
  - ・進路について考えるための情報がタイムリーかつ積極的に流されている。 90% (+2)
  - ・年次や担任の先生は、公正な態度で指導してくれる。 90% (0)
- 肯定的な評価が低かった項目 (80%未満)
- ・図書館が HR 活動や授業で有効に活用されている。 68% (+6)
- 生徒自己評価において肯定的な評価が高い項目 (90%以上)
- ・提出物は期限どおりに提出している。 91% (-2)
  - ・校内ではよくあいさつしている。 94% (+4)
  - ・8時25分には着席している。 96% (+1)
  - ・授業開始のチャイム席を守っている。 95% (0)
  - ・校則をしっかり守っている。 93% (-3)
  - ・携帯・スマホ等の情報モラルについて日頃から気をつけている。 96% (0)
  - ・携帯・スマホ等の使用ルールを守っている。 94% (-1)
  - ・交通安全について、規則を守るよう心かけ、安全に配慮している。 95% (-1)
  - ・学校の施設を大切に使っている。 96% (0)
  - ・節電・節水などエコ活動に積極的に取り組んでいる。 91% (0)
  - ・朝の読書にきちんと取り組んでいる。 90% (+6)
- 生徒自己評価において肯定的な評価が低かった項目 (75%未満)
- ・学習計画表を積極的に活用して日々の学習に役立てている。 68% (-3)
  - ・授業では積極的に自分自身の考えをまとめたり発表できる。 72% (+7)
  - ・家庭学習時間は、年次+1時間程度を実行している。 60% (-1)
  - ・進路意識を高めるための講演会やオープンキャンパスに等に進んで参加している。 71% (+4)
  - ・図書館で本を借りたり、教科学習や総合的学習のために有効に活用している。 71% (+16)

## (2) 教職員アンケート結果の概要について

- 対象教職員数：49名
- 回収者数：49名（回収率：100%）
- 質問項目数：59
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次の通りである。

### 【教職員アンケート】



※ 調査項目59項目のうち、肯定的な評価が95%以上の項目は40（昨年26）であった。

本年度第1回調査では22項目であった。

※ 調査項目59項目のうち、肯定的な評価の平均は93.9%（昨年比+0.9）

○ 特に肯定的な評価が高い項目（95%以上）

- ・ 校長のリーダーシップが発揮されている。 96% (-3)
- ・ 指導重点への取り組み、教育目標が実現されている。 98% (+2)
- ・ 教職員全体の服務規律への自覚が高い。 100% (+6)
- ・ 事故・事件・災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう  
訓練などを行い、役割分担が明確化されている。 100% (+2)
- ・ 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システム  
が確立している。 98% (+1)
- ・ 長期的見通しに立って、施設・設備の点検・維持・管理が行われ  
ている。 96% (-4)
- ・ 学習指導計画の策定に当たって、教科・年次の連携を図り、十分  
な検討がなされ、効果的な目標を設定している。 96% (+4)
- ・ 生徒の学習意欲の向上のため指導の工夫・改善を行っている。 96% (-4)
- ・ 知識・技能の修得に加え、思考・判断・表現の育成に努めている。 100% (+2)
- ・ 指導力を高めるため自己研修・研究を行っている 95% (-1)

- ・前年度の反省を次年度に反映できるよう組織、仕事の内容を見直し、統計資料を作ったり、アンケート結果を公表している。 96% (0)
- ・全校集会・年次集会・HRの他、あらゆる機会を通して、生徒の規範意識を育てている。 96% (0)
- ・エイズ・薬物乱用防止などの健康問題について、専門機関との連携を図り、講演会などを実施している。 100% (+3)
- ・大規模災害を想定した防災訓練を実施し、生徒の防災意識を高めている。 98% (+2)
- ・「いじめ防止」に対する指導が、全教職員の共通理解のもと、計画的に実施されている。 96% (\*)
- ・入学式・卒業式・全校集会など儀式的行事を通し、学校の一員としての意識を自覚させている。 98% (0)
- ・リーダーの育成が組織的に行われている。 100% (+2)
- ・部活動や各種委員会の活動が活発に行われている。 100% (+2)
- ・学校行事が組織的に計画され、協力体制のもと時間が確保されている。 96% (-1)
- ・進路意識高揚のため講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 100% (+5)
- ・模擬試験の結果報告が、円滑になされている。 98% (+4)
- ・三者懇談及び個別面談を通じて、進路指導を適切かつ十分に行っている。 98% (+4)
- ・自習室は、放課後等の自主的学習活動に役立っている。 98% (\*)
- ・英国姉妹校への生徒の送り出し、受け入れが円滑に行われている。 100% (+3)
- ・留学等に関する情報提供が十分になされている。 98% (+6)
- ・年次指導目標が、所属職員に周知徹底されている。 96% (+8)
- ・年次内の係分担が適切に行われている。 96% (+4)
- ・年間を通じて学校生活に対する適切なガイダンスを行っている。 96% (+6)
- ・家庭との連絡や三者懇談等を通して、相互理解が図られている。 100% (+2)
- ・保健室が学校の健康管理センターとして機能し、生徒の実態や情報の共通理解がなされている。 100% (+3)
- ・生徒が健康について問題意識をもつような指導がなされている。 100% (+4)
- ・ハイユースパソコンを有効に活用している。 100% (+6)
- ・図書を選定にあたっては、生徒の意見が反映されている。 96% (-2)
- ・図書館の利用に向けて、読書案内が十分行われている。 96% (-4)
- ・PTA活動は、職員に十分理解されて行われている。 100% (+6)
- ・同窓会の活動は、職員に十分理解されて行われている。 95% (+4)
- ・心に問題をもつ生徒の支援体制が整備されている。 96% (0)
- ・生徒・保護者・生徒に対して心のケアに関わる講演会などの情報の提供が適切に行われている。 97% (+3)
- ・ゴミの分別、節電・節水など環境教育の視点から適切な指導を行っている。 96% (+2)

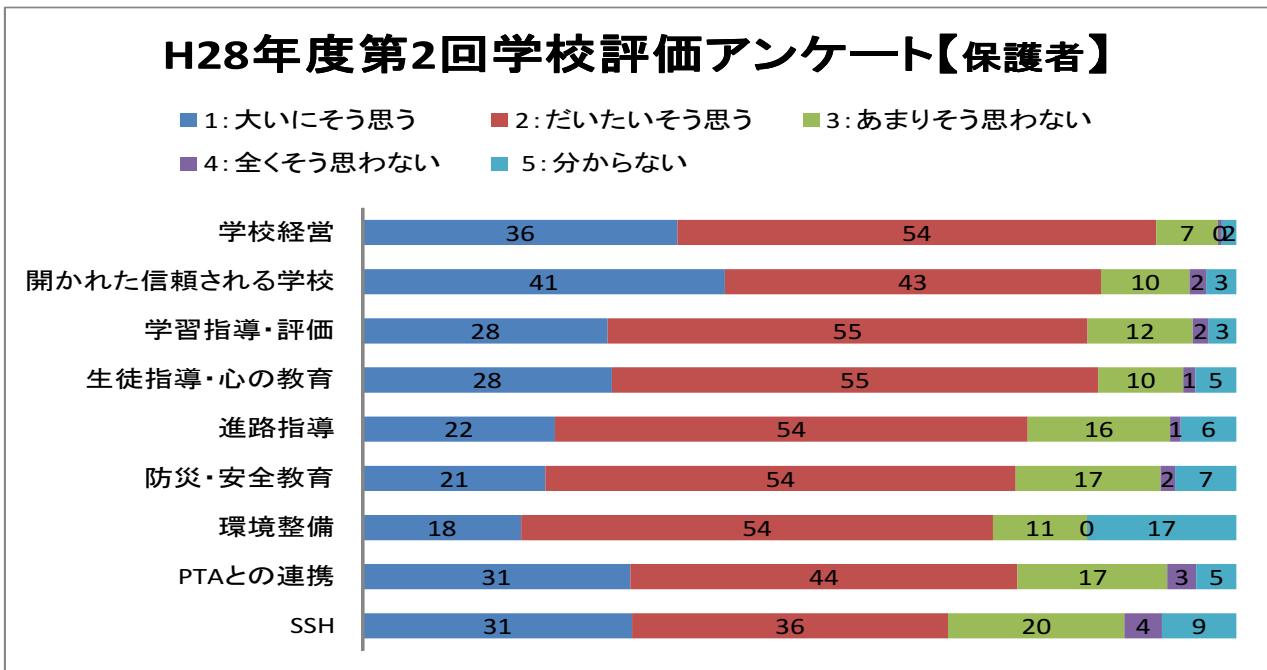
(\*)は本年度新しく設定した質問項目

- 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）
  - ・教職員が悩みなどを気軽に相談できる雰囲気がつくられている。 75%(-10)
  - ・SSHの取組みが学校の活性化に活かされている。 65%(-6)
  - ・授業のためのワゴンプロジェクター等教育情報機器を有効に活用している。 65%(0)

- ◎ 昨年より肯定的な評価が5%以上低下した項目
  - ・適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。 86%(-7)
  - ・教職員が悩みなどを気軽に相談できる雰囲気がつくられている。 75%(-10)

### (3) 保護者アンケート結果の概要について

- 対象保護者数：707名
- 回収者数：675名（回収率：97.8%）
- 質問項目数：29
- 質問項目を評価項目ごとに分類・集計した結果は次の通りである。



※ 調査項目29項目のうち、肯定的な評価が85%以上のものは12項目（昨年16）であった。

※ 調査項目29項目のうち、肯定的な評価の平均は80.2%（昨年比-2.8）

- 特に肯定的な評価が高い項目（90%以上）
  - ・学習活動・学校行事・部活動等において特色ある教育を行っている。 92%(-2)
  - ・学校行事が計画的に行われている。 94%(-3)
  - ・本校では、心身ともに健康な生徒の育成に努めている。 90%(-3)
  - ・お子さんは、本校の生活を楽しいと感じ、明るく学校生活を送っている。 90%(-1)
  - ・本校のPTAは、学校行事や生徒指導に協力している。 90%(-5)
  - ・本校のホームページの存在を知っていますか。 92%(-4)
  - ・お子さんを本校に入学させて良かったと思う。 92%(-2)

- 肯定的な評価が低かった項目（80%未満）
  - ・学習課題に積極的に取り組んでいる。 77%(-4)
  - ・避難・防災計画を生徒や保護者に分かりやすく示している。 63%(-1)
  - ・本校では同じ歩調で生徒指導を行っている。 74%(-5)
  - ・本校の教師は、家庭と密接に連絡を取って生徒指導を行っている。 66%(-3)
  - ・自主性・自律性を高める指導を行っている 78%(-3)
  - ・ゴミの分別など環境教育の視点から適切な指導が行われている。 72%(-3)
  - ・積極的に生徒・保護者が必要としている進路情報を提供している。 74%(-4)
  - ・進路に指導の年間計画を分かりやすく説明している。 74%(-3)
  - ・進路講演会、大学等の説明会・見学会への参加促進を適切に行っている。 79%(-5)
  - ・「年次だより」や「クラス通信」などの配布物は手元に届いている。 68%(0)
  - ・自習室の存在を知っている。 71%(\* )
  - ・SSHの研究指定は、日川高校の魅力の一つになると思う。 73%(-3)
  - ・日川高校のSSHの活動について、興味・関心がある。 61%(-3)
- (\*)は本年度新しく設定した質問項目

### 3 学校評価考察

生徒、保護者及び教職員の学校改善に関するアンケート結果より、本校の生徒は、学校生活に真面目に取り組んでいるといえる。学習面においては、授業への意欲や関心が高いことが窺えるが、その一方で、家庭での学習時間が確保できていない生徒が4割いる。家庭学習の時間の確保については、教員の指導および家庭との連携した指導が必要である。進路面では、関心が高い生徒は多いがオープンキャンパス、進学説明会への参加をとおして情報を入手する等、具体的な行動ができない生徒も多い。このことは、キャリア教育を進める上での課題であると考えられる。

保護者の教育活動への関心の高さや、協力的であることは、教育活動を進める上で大きな推進力となるものである。保護者との強固な信頼関係を築くためには、家庭との連携による生徒指導、進路指導に努めることである。保護者との情報を共有するために、学校では教育活動についてホームページや、学年だより及び広報紙をとおして情報を提供している。しかし、配布物が保護者の手元に届かないことが指摘されており、注意しなければならない。

今年度で一期目が終了となるSSHについては、教科での取組、教育課程上で理系クラスに広げられるなどして取り組んだ結果、生徒の興味関心を高めることにつながっている。しかし、生徒や保護者全体までにSSHについて効果を十分に伝えるところまでは至っていない。SSHの取組の周知については今後も検討が必要である。

本校では、アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業改善に取り組んでいる。従来の一斉授業の形態からアクティブ・ラーニングにより「主体的・対話的な深い学び」につなげ、学習効果を高めることをねらいとするものである。このことは、生徒の「分かりやすい授業」につながっていることがアンケート結果から読み取ることができる。しかし、主体的な学習の実現には、各教科でさらなる検討を要す。

教職員については、不登校や多様な生徒への対応など教職員への負担も大きくなっており、メンタルヘルスについて注意しなければならない。アンケート結果から「悩みなどを気軽に相談できる雰囲気がつくられている」について、肯定的な回答が減少しており改善のための検討が必要である。

本校は、保護者が学校の教育活動への関心も高く協力的であること、さらに教職員も本校の教育

目標・指導重点を良く理解し、教科指導・生徒指導・進路指導及び部活動指導に熱心に取り組んでいる。これは本校の強みであり、また、生徒及び保護者からの肯定的な評価につながっている。

質の高い教育活動を展開するために、生徒により高い志を持たせ、それを確実に実現させる指導を推進していかなければならない。さらに、今後も本校が地域の知の拠点として、将来を担う人材の育成を目指し、生徒、保護者及び地域との信頼関係を構築することが求められている。

## 4 課題と改善に向けて

### (1) 課題

#### ① 生徒

- ・家庭学習時間の確保について
- ・自主的な学習への取組について
- ・進路意識の高揚
- ・言語活動の充実について
- ・図書館の有効活用について

#### ② 教職員

- ・教職員のメンタルヘルスについて
- ・学校活性化につながるSSHの取組について
- ・教育情報機器の有効活用について
- ・アクティブラーニングの視点からの授業改善
- ・生徒の進路意識の高揚について

#### ③ 保護者

- ・防災計画の周知について
- ・学校と家庭が連携した生徒指導について
- ・進路情報の提供について
- ・学校等からの配布物の取扱いについて
- ・保護者へのSSHの取組の周知と理解について

#### ④ 学校評議員・・・別紙

### (2) 改善に向けて

#### ① 確かな学力、資質・能力の育成

- ・「基礎・基本の知識・技能」の習得
- ・課題解決のための「思考力」・「判断力」・「表現力」の育成
- ・及び学びに向かう力、人間性等の涵養

#### ② 授業改善、授業力向上への取組

- ・アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業改善
- ・生徒の変容を図る評価についての研究

- ③ 探究的な学習の取組
  - ・自ら課題を発見し、他と連携して解決を図る探究的な活動の実践
  - ・主体的な学習につながる各教科での研究
  
- ④ 家庭学習時間の確保に向けた取組
  - ・下校時間の厳守
  - ・時間の管理を意識させた取組
  - ・課題についての検討
  - ・シラバス、学習計画表の活用の工夫
  
- ⑤ 進路意識の涵養
  - ・進路情報の提供
  - ・進路講演会、オープンキャンパスへの参加促進
  
- ⑥ SSHの取組
  - ・教育課程編成の工夫
  - ・SSH活動の周知
  
- ⑦ 進路指導について
  - ・将来を見据えた進路指導の実践
  - ・教科、年次の連携した情報の共有
  - ・入試問題研究
  - ・進路指導に関する教職員対象の研修会実施
  - ・全校態勢による小論文、面接指導の実践
  - ・保護者対象進路講演会の工夫
  
- ⑧ 生徒会活動について
  - ・部活動数の検討
  - ・文化局の活性化
  - ・合理的な練習、指導計画の研究
  - ・生徒、保護者、同窓生及び県民の期待に応える成果
  - ・地域のボランティア活動への参加
  
- ⑨ 信頼される学校を目指して
  - ・安全で安心した学校生活を送ることができる学校づくり（危機管理の徹底）
  - ・学校と家庭との連携による生徒指導の実践
  - ・教育活動の保護者への周知



⑩ その他

- ・ 広報活動の充実
- ・ 学校ホームページの定期的な更新
- ・ 学校パンフレットの工夫
- ・ 「紫風」、「学校新聞」、「各種便り」等の発行